

シーン - 8 森林吸収オフセット推進事業

目的

森林整備によって向上した二酸化炭素吸収量を貨幣価値を持ったクレジット化するとともに、クレジットの取得や販売取引・流通の基盤づくりを進めることにより、企業や団体等に制度を普及し、取り組みの拡大を図ります。

事業効果

CO2削減効果	- t-CO2
その他	-

事業内容

H26事業費:3,800千円

クレジットの取得

【対象森林】県営林

【対象行為】森林整備(植栽, 保育, 間伐)

【取得までの流れ】

プロジェクト登録～モニタリング調査・検証～クレジットの発行

クレジットの販売取引・流通

【流通先等】企業, 団体によるカーボン・オフセットやCSR活動又はカーボン・オフセット商品への付加等

【収 益】販売収益は新たな森林整備などに活用

取組の普及促進

【取組内容】説明会やマッチングイベント等を通じた販売促進, 制度や取組の普及, 事業体への取得・販売支援・ネットワークの構築

税導入後のイメージ



社会全体で森林整備と二酸化炭素削減を支える仕組みづくり

カーボンオフセットとは？

企業・団体等が自助努力により二酸化炭素の排出を削減しても直接行う取組みには限界があるため、削減しきれない排出分を、森林整備により吸収したり、クリーンエネルギー利用等により削減された二酸化炭素量により創出されたクレジットを活用して相殺（オフセット）すること。